

令和 3 年度

中標津町総合教育会議議事録

令和3年度中標津町総合教育会議

1 日 時 令和4年2月10日(木) 10時00分～10時50分

2 場 所 中標津町役場 301号会議室

3 出席者

町 長	西 村 穰
教 育 長	山 田 康 司
委 員	義 盛 幸 規
委 員	助 口 明
委 員	南 むつ子
教育部長	木 村 実
教育指導監	粥 川 敏 宏
管理課長	舟 橋 利 明
総務係長	表 健 一
学校教育課長	吉 田 憲 史
指導室長	柴 田 達 也
生涯学習課長	山 宮 克 彦
学校給食センター長	吉 田 利 彦
農業高校事務長	吉 川 裕 二

4 欠席者

委 員	青 山 幸 子
書 記	黒 瀧 詩織里
書 記	森 井 彩 花

5 傍聴者 なし

6 議 事

- (1) 中標津町教育大綱の改定について
- (2) 中標津町の児童生徒の学力向上を目指す学校改善支援プランについて
～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～
- (3) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について
～中標津町における調査結果～

1 開 会

○管理課長

皆さん、おはようございます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

青山委員が、所用のため欠席となっておりますので、お知らせいたします。

ただいまより、令和3年度中標津町総合教育会議を開催いたします。

ここで、西村町長よりご挨拶申し上げます。

○町長

おはようございます。

委員の皆さまには、大変お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。また、日頃より、教育関係全体につきまして、ご指導いただき厚くお礼申し上げます。

会議の前に、担当から、去年、一昨年にどんな挨拶をしたかという文章をもらいました。2年続けてコロナの話をしておりました。今年もせざるを得ない状況となっております。

この1週間で、町内の発生者が90名近い数字となっております。推移を見ますと、非常に感染力が強いのが伺えますし、第5波と違うのは、やはり子供たちへの感染が非常に増えていることです。

ウイルスも変異を重ねながら、自分たちの命を存続をしようという力が働いて、新しいところ、新しいところへと。ウイルスの勉強を教える気はないですけども、変異をしながら自分たちを拡大しているっていう、そういった考え方ですね。ウイルスといえども、すごいんだと、日々変わっているんだと。そういう意味では参考になるかと、ちょっと思ったりもしました。

我々も、対策をいろいろやりまして、学校も閉鎖しながら、何とか収まるべく努力している最中ではあります。3連休もございますので、そういう部分では、少し収まってくれればいいなと思います。

あと、お店もですね、なかなか厳しい状況が続いております、特に、テイクアウトを推奨しておりますけれども、この間、ある店に行きまして、夕方時間帯になってもお客さんが全く来ないと嘆いておりました。是非来ていただきたいと思います。

昨年度から、テイクアウトするようにお願いしております、私の去年のテイクアウトの回数、多分、毎週1回はやっておりましたので、50回くらいはやったのかなって思っております。ただ取るのは面白くないので、何か1種類のメニューを決めて頼もうと決めまして、ずっとカツカレーを食べておりました。見ましたら、去年だけで26回も食べておりました。町内は、12件ほどだったんですけれども、出張したり、出掛けた先でも、なるべく選んでカツカレーを食べておりました。カツカレーの比較表を自分で作りまして、どこの店が一番美味いっていうことをしていると、楽しいです。辛い状況の中でも、少しは楽しみを持って、そして、何か理由を見つけてやる方が、少しでも取組に対する意欲が湧くのではないかと感じます。

さて、教育と言いましたら、とにかく教育委員会、それから、委員の皆さまにお任せ度合いが強い気がしておりますけれども、この間、教育長とお話しをしておりましたら、将来的に少子化が進むという、これが労働力不足となるかなと、それが更に人材不足につながっていくとなっております。確かに、役場の試験を受ける方も決して多くはなく、辞退する方も増えている。これが、一般職だけでなく、技術職もそうです。そういう部分では、子供たちに、当然、学力の向上、体力の向上がもちろんでありますけれども、それ以上に、これからは、どうやって地域にしっかり戻ってきてもらえるかなっていうのを、1つ加えなきゃいけないなと思っているところではあります。

そういう部分では、こういう会議でしっかり行政とタッグを組んで、将来の町をどうやって作っていくのかを、議論していただけたらと思っております。貴重な時間でございます。どうか、良い議論をしていただきまして、将来に向けての教育の構築にご尽力いただければと思いますので、よろしくどうぞお願い申し上げます。

以上でございます。

○管理課長

それでは、早速、議事に入らせていただきます。

中標津町総合教育会議設置要綱第4条第3項の規定によりまして、これより町長が議長となり、進めさせていただきます。

それでは、西村町長よろしくお願いいたします。

○町長

始めたいと思います。

まず、中標津町教育大綱の改定につきまして、説明をお願いいたします。

○指導室長

教育大綱につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて、作成するものとなっております。

前回、平成28年1月に作成した中標津町教育大綱は、令和2年度までの期間のものであるため、今年度改定することとなっております。

教育大綱について、この場で協議を受けて定めることになっておりますので、案として提案させていただきたいと思います。

教育大綱1枚目、A3のものをご覧ください。

左上の教育大綱基本理念についてですけれども、第7期中標津町総合計画、それから、教育行政方針を基に「ふるさとを愛する心と思いやりの心を持ち社会の中で生きる力を育む教育」ということで、提案させていただきます。

主要施策については、第7期中標津町総合計画の前期基本計画の第5章郷土愛溢れる町づくりにある、学校教育の充実、生涯学習の推進、スポーツの振興、地域文化の振興、そして、教育の基本となる家庭教育を充実させるために、第2章にあります子育て支援の充実を含めました。全部で5つの施策となっております。

また、具体的な取組としまして、別紙に中標津町教育振興基本計画を作成しました。本来であれば、この基本計画を策定するに当たって、組織を編成して、意見を聞きながら策定することとなっているんですけども、今回策定した基本計画につきましては、中標津町総合計画の第5章、それから第2章の子育て支援の充実、そのまま引用しておりますので、組織、それから意見という手順を省略させていただきました。

具体的に、この基本計画を見ることで、どんな取組をしなければいけないのか、また、成果資料もあることから、PDCAサイクルをこまめに行っていくということで作成しております。

また、カラー印刷のものですけれども、基本理念の説明に、教育委員会、学校、家庭、地域の役割を明確にしたものです。それぞれの役割に責任を持って、基本理念実現のために、一体となって取り組んでいければと考えております。

簡単ですが、説明は以上です。

○町長

説明が終わりましたので、ご意見をいただきながら、協議を進めたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○義盛委員

A3の教育大綱の案なんですけれども、細かいところなんですけれども、具体的取組の主要施策2番学校教育の充実なんですけれども、(2)学力向上健全育成の推進の項目のところでは。

まず、1人1台タブレット端末の活用というように記載がございますけれども、タブレットと言い切って大丈夫ですかね。情報端末くらいにした方が、今後はタブレットじゃなくてノートパソコンだとかっていうことになったりしないですか。うちの子が、今ノートパソコンの方が有効に活用しているものから、そっちの嗜好性もあるのかなっていうのもあるので。

今って全部タブレットでやりましたでしょうか。

○学校教育課長

ツーインワンタイプですので、切り離して使える形の物なんですけれども、GIGAスクール構想に関わってのうたい方っていうか、言い方がですね、1人1台端末、1人1台タブレットという言い方があったものですから、一応この表現として、タブレットとはうたっているところです。

○義盛委員

そしたら、そんなに縛られるものではないっていうことですね。

○学校教育課

そうですね。

○義盛委員

あと、今後の動きですよ。情報機器のこれからの傾向が、僕はちょっと分からないので、ちょっと気を付けながら、あまりタブレットに縛られないっていうことも意識してもらえたらなって思います。

もう1点。今年ずっと気になっているのが、先ほど町長もおっしゃってたように、人材不足っていうことで、教職員の指導力向上のみならず、教職員も活動支援っていうような項目がそろそろ必要なんじゃないかって思いますね。まあ、後でも、ちょっと意見を言いたかったんですけども、教職員も指導力のみならず、暮らし全体を支えるようなサポート体制を検討しないと、なかなか人材を確保するのは難しい時代に入ってくるのではないかなっていうことを思うんです。

今、文科省とか、積極的に関わろうとしてくる方は、基本的に教職員の厳しい方向性が見受けられるんですけども、もうちょっと自治体として教職員を守るっていうような姿勢を打ち出しても良いんじゃないかなって考えています。僕自身は。頭の片隅に置いておいていただければと思います。

以上です。

○町長

はい。ありがとうございます。

タブレットの件はいいですか。

○学校教育課長

今、義盛委員からご指摘いただきまして、タブレットに限定するっていう意図での表現ではないんですけれども、確かにご指摘のとおり、こちらの教育振興計画の中で、1人1台端末のところも触れておりますが、その中では、情報機器端末というような言い回しにしておりますので、この大綱の方もそれと整合性を取る形で直したいと思います。ありがとうございます。

○町長

はい。じゃあそういうことで。

それと、人材不足の関係もお話しいただきましたけれども、本当におっしゃるとおりだと思います。将来的に、こういった問題はしっかりやっていかないと、とにかく都会にみんな流れてしまうので。

やっぱり暮らしにくいところに、なかなか人は行かなくなっちゃう時代に間違いなくありますので、そういった意味ではどのようにするのかなっていう、教え込む方法と、それから感じてもらう方法と、しっかり二面性を持ちながらやっていかないといけないなと思います。

○義盛委員

別の自治体の話なんですけれども、例えば、下呂市、岐阜県ですね。ちょっとニュースにはなったんですけれども、中学校校長会からの提案で、教育委員会が決められたようなんですけれども、教員の勤務時間に合わせて、午後16時半に学校での活動は終了するっていうようなことを来年度から実施するって言って

いたんですよ。

そうすることによって、教師の家庭も守られるってこともあるでしょうし、また、学校での活動の原動力につながるっていうことも考えられてだと思うんですけども、そこまで極端にとは言いませんけれども、下呂は16時半になったらきっちり部活動も終わりと、思い切った施策をしたものですから、そんな方向性があっても良いのかなっていうことを考えておりました。

教職員の支援っていうことは、ちょっと念頭に置きながら進めていくのも良いのかなっていうのを。

○町長

教育長どうぞ。

○教育長

中標津町に関しては、根室管内1市4町の中でも、1番早く勤務時間の縮減ですとか、学校閉庁日ということで、年末年始の学校休業日とか、先にして徹底しており、大分、先生方の負担を軽くするようにはしております。

今、義盛委員がおっしゃられた教職員の勤務時間の整備など、私もそういう形は望ましいと思っておりますが、働き方改革と教職員の使命感を両立しながらやらないと、非常に危ないなと私は思います。

現に、校長先生が休日勤務を命じられないだとか、勤務時間を厳守したり、そこばっか気にしてしまうと、心要な危機の時に、教職員集団は機能しないことも起こり得るんですね。そこは、慎重にしなければいけない。要は、バランスの問題ですね。そこを考えながら、取り組んで参りたいと考えております。

○義盛委員

教育委員会が積極的にそこを考えていることを伝えることも1つかな。

ここに来たいって思っていただけのようなのが、理想だなんて思います。

○町長

そのほかにどうでしょう。

よろしいですか。

それでは、この件につきましては、原案のとおり確定するということによりよろしいでしょうか。

次に、中標津町の児童生徒の学力向上を目指す学校改善支援プランについて、説明をお願いします。

○指導室長

別紙で、学校改善支援プランを配っておりますので、それを基に説明をさせていただきます。

2 ページですけれども、全国学力学習状況調査の結果となっております。

真ん中より下、2 番の中標津町と全国の平均正答率の差ということで、経年変化を示していますけれども、小学校については、かなり全国との差が縮まっているということがあります。

中学校においては、ジグザグが多いんですけれども、平成 31 年と令和元年度に比べると、若干ですが、上がっているということが分かります。

3 ページ以降につきましては、教科に対する調査ということで、問題に対する正答率をまとめております。

5 ページからは、中標津町の児童生徒における学習生活状況ということで、児童生徒質問紙が抜粋して 15 項目のアンケート結果を載せております。

この結果を受けて、中標津町の 1 番の課題につきましては、国語の書くことという領域が低くなっております。書くことと言っても、書くことだけでなく、自分の考えが相手に伝わるように話すということも含まれておりますので、インプットするだけの学習ではなく、説明し、アウトプットをする学習を、改善点として挙げております。

8 ページ以降になるんですけれども、学校改善支援プランということで、まず、1 つ目として、校内研究の質の向上と共同研究体制の確立です。

先ほども出ておりましたけれども、教育の指導力向上のためには、学校一体となって組織的に研修を進めていく必要があるのかなと感じております。それと、研究の進め方について、1番では示しております。

9ページですけれども、具体的に、授業改善をどうしていったら良いかということになります。「主体的・対話的で深い学び」という言葉は、どの先生も意識しているんですけれども、じゃあ主体的とはどんなことなのか、対話的深い学びとはどんなことなのかっていう、具体的に1つ1つ説明をしていく必要があるのかなと感じております。

言葉だけ選考して、これが主体的と思い込んで、主体的だったら子供が動いていればいいんだとか、中身が伴わない活動も重要になってきますので、その辺をしっかりと指導・助言していきたいなと考えております。

11ページになりますけれども、家庭・地域との連携ということで、特に、情報モラルについての教育が必要ではないかと思っております。

児童生徒質問紙の中に、携帯・スマホ・コンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますかという質問項目があったんですけれども、守っていない、そもそも約束はないという家庭、子供たちが、全国より中標津が高くなっております。SNSのトラブルについては、家庭から学校にきて何とかしてくれっていうことがあるんですけれども、そもそも与えているのは家庭であって、もっと家庭の教育力を上げていかなければいけないと感じております。

それから、家庭学習についてですが、全くしないという数値を減らすことを目標に取り組んでいきたいなと思っております。家庭学習については、ただプリントを出してやらせるのではなく、授業の中で、もっとこれを調べてみたいとか、こういうことをやってみたいと思えるような授業をしていくことが重要かなと思っております。その辺を、学校と連携して、家庭学習への取り組み方についても、指導・助言していきたいなと思っております。

説明は以上です。

○町長

説明が終わりましたので、議論をしていただきたいと思います。

何かありましたら、意見ををお願いします。

○義盛委員

最近、僕がつくづく思うんですけれども、お坊さんのやりとりで、若手の20代の方とかは、文章作成能力が非常に落ちていて、書き方がそもそも分からない。それがお坊さんでいえば致命的で、やっぱり言葉を操らなくてはいけないプロが、そういうふうに使えなせないというのが、本当に危機的な状況だなと、うちの宗派でも思うんですが、基本的に、文章作成能力っていうのは、元をたどれば、リーダーフрендにあるかどうかでことがすごく大切だと思うんですね。読み手に伝わるものを書けるか。はたの思いやりっていうところがあって、自分さえ書ければ、自分が納得すればいいっていう文章ではなくてということを考えるなら、言語学習、言語教育というのは、そもそも道德とかにもつながってくるものなんでしょうね、きっと。そういったところも育んでいただけるような教育現場を、難しいんでしょうけど、全教科網羅されるような言語教育ですから進めていただきたいと思います。意見として。ごめんなさい。これから更に学校教育に重点を置いていただきますよう、お願いしたいと思います。

○町長

何かございますか。

○教育指導監

まさにご指摘のとおり、新しい学習指導要領の言語活動というのを、各教科、国語のみならず、全教科、全活動の中で意識してるっていうことが、盛り込まれております。教育する力、理解する力もそうなんですけれども、目的意識とか相手意識をしっかりと持った上での言語活動を展開していかなければいけないということで、そういう生徒指導上の、実は大事なポイントで、自分の気持

ちを表に出す力、それを言語化する力っていうのがとても鍵になると思うんですよね。むやみやたらに感情をぶつけてしまうっていうことではなくて、その気持ちがどんな気持ちだったのかとか、そういうことが表に出せる力っていうのは、とても教育上ポイントになってくると思うんで、今後の教育のポイントになっていくので、各学校にも訴えていきたいなと思います。

○義盛委員

もう1個よろしいですか。

最後のページの情報モラルっていうふうに表現されていますけれども、モラルのみならず、要は使い方ですよね。インターネットを含めた、そういう情報社会に対応していく、道徳のみならず、持ち方そのものをこう、約束を取り組めるって言ったら怒られるのかな。リテラシーだけでも含めたほうが良いと思いますよ。あんまり変わらないのかもしれないですけども、使い方そのものを取り組んでいただけるような、もちろんご家庭でってことですけども、そういうことも意識していただければいいのかなと思いました。

○町長

ほかにどうですか。

○指導室長

この辺につきましても、先日、広陵中学校で情報モラルの学習ということで、全校生徒を対象に、専門の方にリモートでなんですけども、やはりこの使い方も含めて、SNSについての投げかけ、これはやっちゃいけないよとか、そういう具体的なことも教えていただきました。これを、学校だけで終わらせるのではなく、学校としてはこういう学習をしましたよっていうことで、情報発信、家庭に知らせていく必要があるかなと思います。僕も一緒に参加させていただきましたので、CS通信でHPにアップはしているんですけども、そういう情報発信もしていきながら、連携して取り組んでいけたらなと思います。

○義盛委員

じゃあ、モラルもその中に含まれてますね。承知しました。

○町長

そのほかにいかがでしょうか。

○南委員

スマホの時間の増加とか、モラルとかもあるんですけども、やっぱり他人と関わる時間が減っているのかなって思うんですね。でも、ここで地域の行事に参加していますかって。ほかと比べると、都会力はあるんですが、地域の行事がそんなになんか感じているんですね。例えば、昔は子供会、育成会とかあったんですけども、そういう行事が無くなって、だから、必然的に周りの人に話すこともない、他人と関わることも無くなってしまっていることによって、自分で何をすべきかって考えることがない。結局、身近なスマホにいて、家庭で注意されることもないということになっているのかなと思って。もう少し地域の活動を活発にしていけたらって思っています。

○町長

今はコロナ時代、もうコロナ2年目くらいに突入していますので、町内会行事も本当にできていない状況ですけども、行事に全体的に子供が集まってくるかっていうのは、全体的に町内会のパワーも落ち気味なところがあるので、今、南委員のおっしゃったような、そういった方向にも影響があるんじゃないかと。大変な問題になると思いますので、やっぱりこの町内会活動をしている担当にも伝え、対応していかなければいけない問題だと私も感じております。

教育委員会的にはどうですか。地域商業の関係。

○教育長

その辺りは、導入されているコミュニティスクール制度だとか、地域学校協働本部だとか、コロナ禍が収まって、本格的に機能が始めると、少しずつ改善されていくかなというふうに思っております。

基本的に、学校だけじゃなくて、地域住民の方々に協力していただいて、教育を推進するという考え方だったので、将来的には改善できるかなと思っておりますが、こういう計画が立ち上がった時点で、ドーンとコロナがきちゃったんで、思ったより立ち向かえず、教育委員会としては苦慮しています。

○町長

そのほかにございますでしょうか。

よろしいですか。

次に、令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果につきまして、説明をお願いします。

○指導室長

今年度、小学5年生の男女、中学2年生の男女を対象に、全国体力・運動能力調査が行われました。その結果が2ページになりますが、全国平均以上の結果を出すことができました。また、中学女子についても、48.6ということで、ほぼ全国平均並みと考えていいかなと思います。中標津町の体力については、着実に向上しているということが分かります。

3ページです。こちらの調査ですけれども、児童生徒への質問紙というものがありません。体育、運動に関する質問がほとんどなんですけれども、体育の授業は楽しいと感じている子は多いかなと思います。

課題としましては、中標津町の課題として、50メートル走、走ることがちょっと弱いという傾向が見られます。走るといっても、ただ走るだけではなく、やっぱりタイミング、あと力の加減、それからバランス、リズムカルに素早くというような、いろいろな要素が含まれてきますので、そのような要素を取り入れて、運動量を多くしていく必要があるかなと思っております。

それから、この質問紙に書いていないですけれども、運動が嫌いと回答した子もいます。その理由としましては、体育の授業でうまくできない、汗をかくことが嫌、怪我をすることが怖い、友達の前で運動をすることが恥ずかしい、これが理由の上位4つになっております。この辺につきましては、やはり授業改善、学級の支持的風土が必要になってくるのかなと思っております。

また、朝食を毎日食べる児童生徒なんですけれども、全国平均と比べて低くなっております。何年前、過去は、全国平均に比べて高い数値だったんですけれども、年々減ってきているというところが、気になっております。

また、テレビやスマートフォンを見ている時間なんですけれども、全国平均と比べると高いということが分かるんですけれども、中標津町の経年変化で見ると、段々減ってきています。少しずつ改善されているのかなと思っております。

そして、今後取り組むこととして、やはり生活習慣の改善、それから、運動のしやすい環境の整備、体育の更なる授業改善ということで、3点挙げております。具体的には、4から6ページにまとめております。

この結果につきましては、今回、2月に1回まとめたものですので、校長会・教頭会を通じて、一緒に取り組んでいきたいと考えております。

説明は以上です。

○町長

再び意見を聞きながら協議したいと思います。

○助口委員

これを見ると、前は、かなり中標津町の子供たちの運動が鈍いつていうか、数値が低めだったんですけれども、今は、全国的にも良いか、変わらないくらいということで、このコロナ禍の中、体育の先生は非常に頑張ってくれたんだなって、改善とかではなく、褒めてあげたいなって思いました。

○町長

アップしたっていうことは、指導が良かったというふうに考えますよね。指導の中身っていうか、どんなところに気を付けて、こんなに数値が上がったのか教えてもらえますか。

○指導室長

小学校においては、昨年度まで、体育エキスパート教諭というのを、町に1人配置しておりました。その方が、市街地3校を巡回して、その学校の先生方に指導する体育の授業に関する指導を行い、その授業体制が進んだということが1つの原因かなと思います。

また、コロナ禍で、それこそ部活動とかが中止になって、運動する機会が減ったと思っていたのですが、このアンケートを見る限りでは、中標津町はコロナ禍でも運動する機会が増えたと回答する児童生徒が、全国より高かったということで、家で子供たちも運動していることなのかなと感じております。

○町長

学校だけの体育で、体力向上とかは考えられないですもんね。それ以外の部分で、いかに体を動かすように促すかという話になってくると思うのですけれども、そういった指導体制がしっかり整っているという背景が見えます。

○指導室長

特に、登下校は歩くことを推奨したり、そういうこともしておりますので、各校連携しながら取り組んでいる成果が出てきているのかなと思います。

○町長

そのほかにどうですか。

○南委員

この表を見て気になったんですけれども、中学校になると「自分には良いところがあると思いますか」のところは、非常に低いんですよね。これが、シャイとかそういうものなんでしょうか。小学生はそんなに平均と変わらないんですけれども、中学になったら極端に下がっているのが、どう見たらいいんでしょう。

○指導室長

中標津だけでなく、中学校にいくと、ちょっと自己肯定感というか、自分を低く見てしまうっていう部分はよく見られるのですけれども、やはり、人間関係というか、その場で「よかったね」と評価されたり、声掛けが少なくなってくるのかな。教科担任などで、先生方が変わる中で、声掛けは難しくなってくるのですけれども、そういう1人1人との関わりが、中学校でも増えれば、その辺も上がってくるかなというふうには思っております。

○町長

質問するということは、多分、重要な課題である時に質問していて、その分野だけを見ると、ほかから比べて低いというところなんですね。こういう低い状態が続くと、何か問題につながるのではないかという感じもするのですが、そういうのもあるのですか。

○指導室長

この項目につきましては、全国学力調査にも配置があります。「自分には良いところがありますか」という部分で、自己肯定感が高ければ、やはり学力・体力等も上位にいくという関係性はあります。

○町長

相関関係があるというような数字が取れるということですね。

○教育長

私、小学校の校長をやっておりましたけれども、中学校の先生って、子供褒めないんですよ。私は、もっと褒めなさいという話をよくしたんですよ。中学校の先生は、何でできないんだとか、どうしてこのくらいしか上がらないんだとか、できて当たり前という指導が本当に多いんですよ。そういうのが、ここにも現れているのかなって。極端ですけどね。

指導監とか指導室長は、現場にきっちり指導してくれているのですけれども、私も機会を見て、今後、現場の先生たち、校長たちを褒めるように努めたいと思います。

○町長

そのほかにありますか。

○義盛委員

この表には、平均だと出てこない問題なのですが、運動でも、学力でもそうなのですが、おそらく二極化が進んでいるように思われるんです。運動できる子はとことんできる。できない子はできないまんま。平均したら、ほどほどにという、だから、全町としては上がっているというふうなことがあるのかなと考えると、全体的に底上げということを意識していただきたい。

この中で言うと、分析結果ですけれども、児童生徒の理由が、運動が嫌いのところ。この辺をピックアップしていただければありがたいことなので、そこを拾い上げていただきたいなと思います。生涯活動としては、すごい運動が盛んだと思いますので、いろんな方が体育館とか利用されますし、そういう活動ができるような意識付けということを、運動が苦手な人に伝えていければと思います。

○管理課長

総合策定の後ですので、6月が終われば、7月以降に総合教育会議の機会を

設けて、そこで策定するっていう形になると思います。

○義盛委員

じゃあ、夏ぐらいつていうイメージで。

○管理課長

すぐ作るとなるとそういうことですね。

○義盛委員

スムーズに作るってことね。

分かりました。

○町長

そういうことで、この件に関してはよろしいですか。

それでは、議事については全て終わったということですがけれども、何か全体を通じまして、伺いたいと思いますけれども、何かございますか。

(委員から「はい」の発言あり)

○町長

それでは、議事は終了いたしますけれども、皆さま方の意見をしっかりいただきながら、教育行政を深めて参りますので、今後もよろしくしたいと思います。

これをもちまして、令和2年度中標津町総合教育会議を閉会いたします。

今日は、本当にありがとうございました。